

「第2次大分市商工業振興計画 商店街アンケート」 調査結果

1. 調査目的

本調査は、第2次大分市商工業振興計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的として実施する。

2. 実施概要

●調査対象

市内商店街に加盟する849店舗のうち450店舗

●調査方法

組合の事務局を通じて調査票を配布し、各店舗からは返信用封筒により返信
※配布数は各商店街の加盟店舗数で按分

●調査期間

平成28年4月18日 ～ 4月30日

3. 回収結果

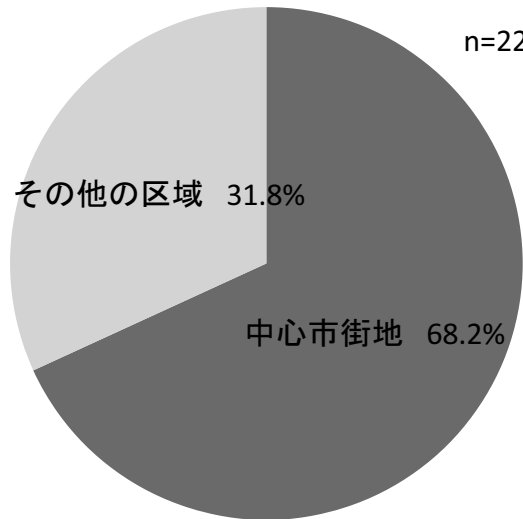
配布数450枚に対して223の回答が得られ、回収率は49.6%だった。

4. アンケート票

最終ページに掲載

5. 調査結果

商店街が立地する場所について

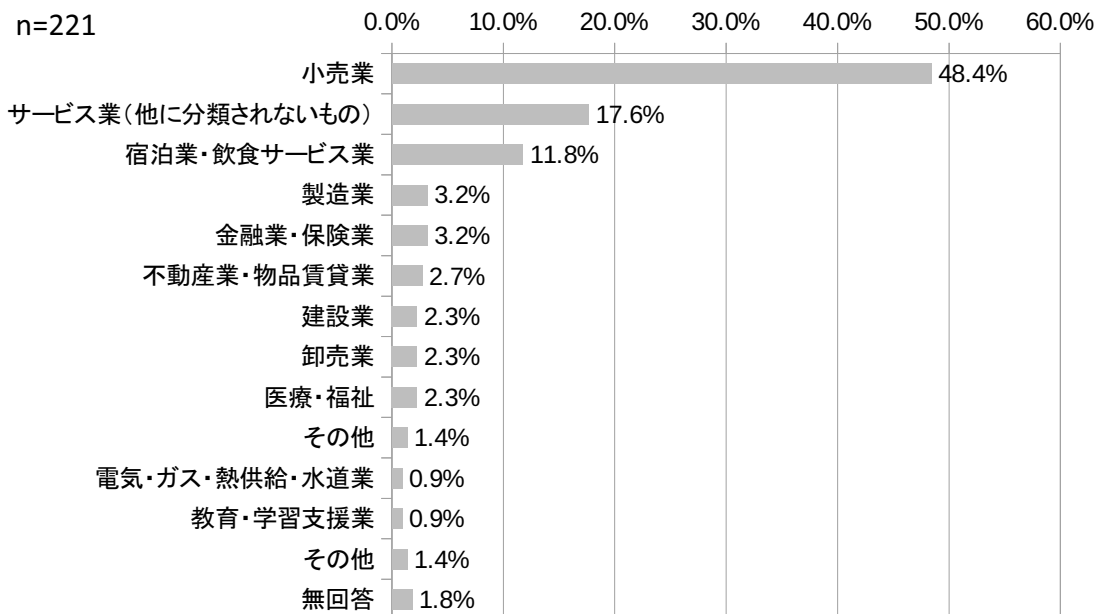


n=223

アンケートに回答した事業所の所在地については、中心市街地が68.2%、その他の区域が31.8%となった。

問1 あなたのお店の業種についてお聞きします。(1つに○)

業種については、最も多いのが小売業で48.4%、次いでサービス業(他に分類されないもの)が17.6%、宿泊業・飲食サービス業が11.8%となった。

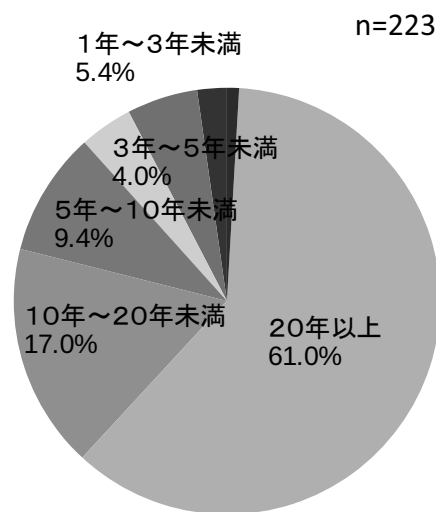


問2 あなたのお店の概要についてお聞きします。（各項目別に1つに○）

事業継続期間

事業継続期間については、「20年以上」と回答したのは61.0%だった。

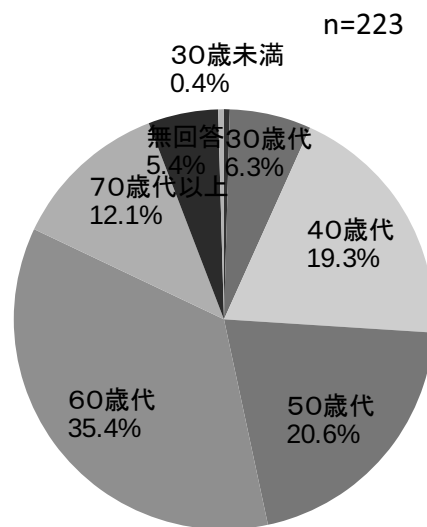
一方、「1年～3年未満」と回答したのは5.4%、「3年～5年未満」は4.0%だった。



経営者の年齢

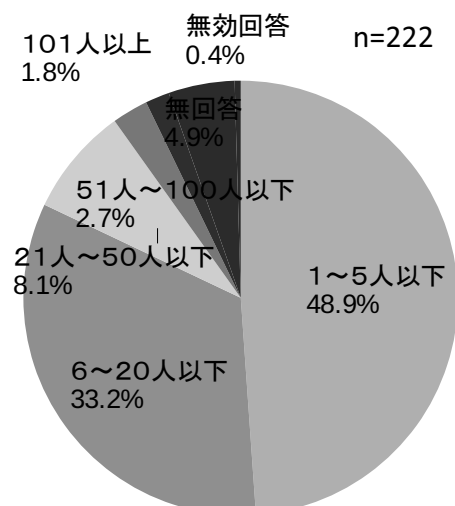
経営者の年齢については、「50歳代」と回答したのは20.6%、「60歳代」は35.4%だった。

一方、「30歳未満」と回答したのは0.4%、「30歳代」と回答したのは6.3%だった。



就業者数

就業者数については、「1～5人以下」と回答したのは48.9%で、全体の約半数を占めている。

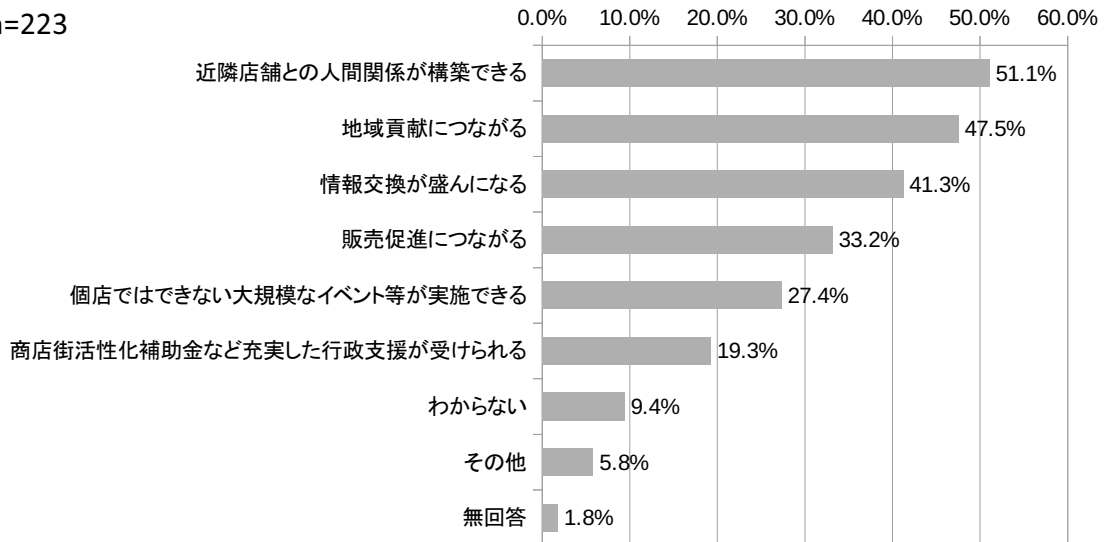


問3 あなたのお店が商店街に加入するメリットをお答えください。（あてはまる番号全てに○）

商店街に加入するメリットについて、最も多かったのは「近隣店舗との人間関係が構築できる」で、51.1%だった。

次いで、「地域貢献につながる」が47.5%、「情報交換が盛んになる」が41.3%だった。

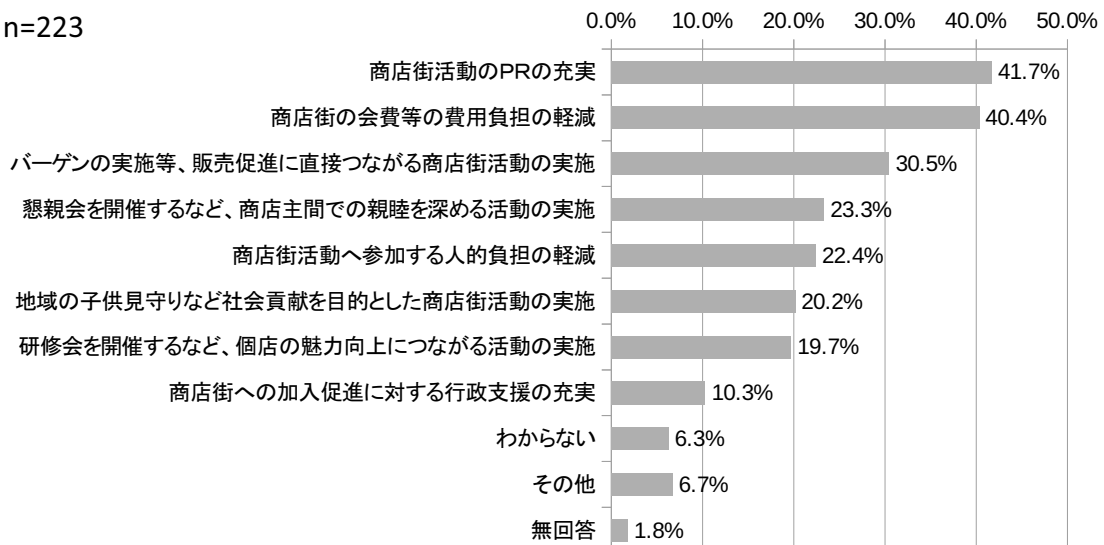
n=223



問4 商店街未加入者の加入を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。（あてはまる番号全てに○）

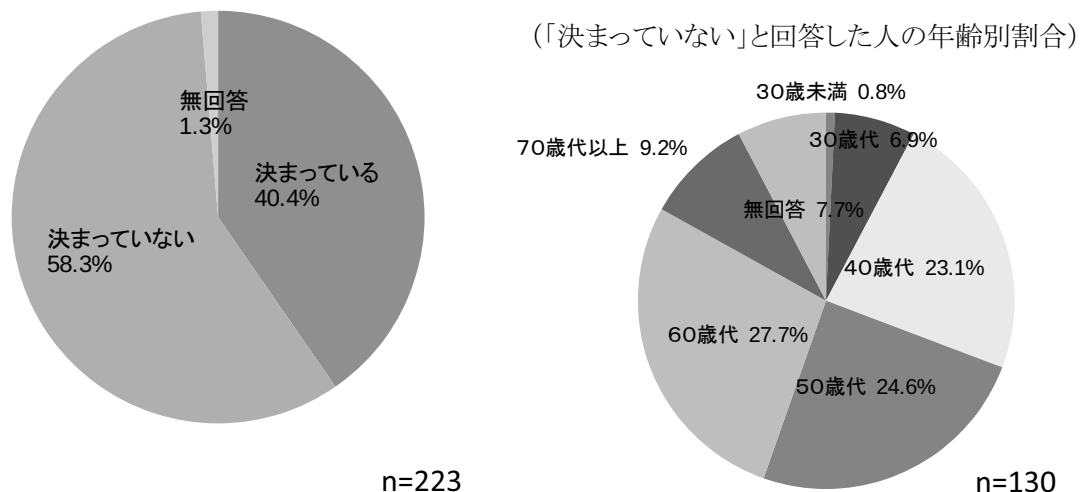
商店街未加入者の加入を促進するために必要な取組については、「商店街活動のPRの充実」と回答したのが41.7%、「商店街の会費等の費用負担の軽減」が40.4%だった。

n=223



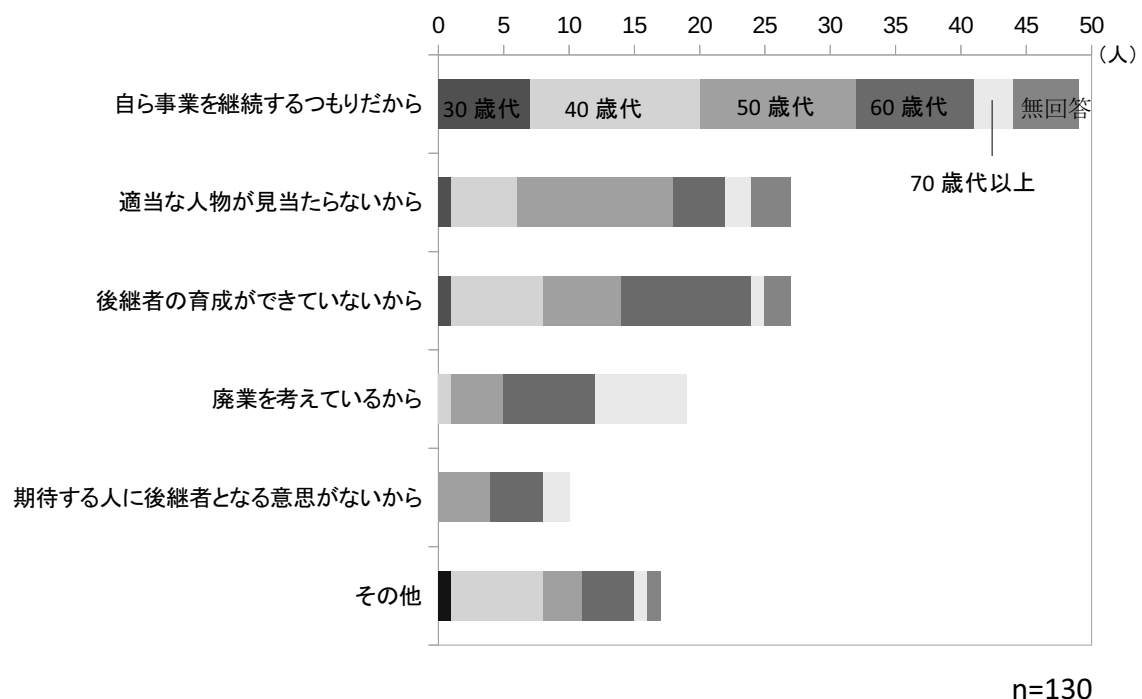
問5 近い将来、あなたのお店の具体的な後継者は決まっていますか。（あてはまる番号1つに○）

お店の具体的な後継者については、「決まっている」と回答したのが40.4%、「決まっていない」が58.3%だった。また、「決まっていない」と回答した人を年齢別に見ると、60歳代が27.7%、70歳代以上が9.2%だった。



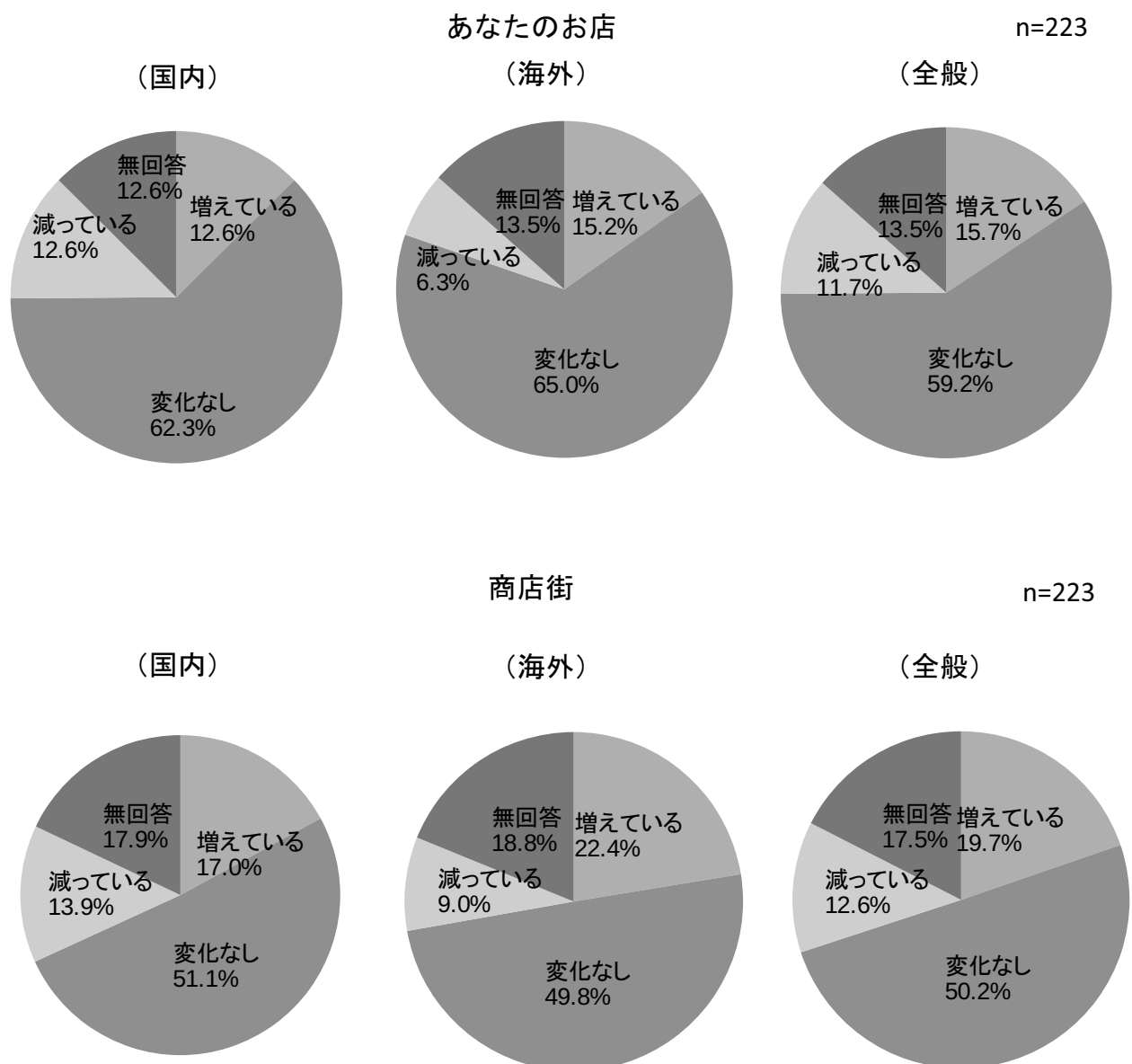
問6 後継者が決まっていない理由はなんですか。（あてはまる全てに○）

上記の設問で後継者が「決まっていない」と回答した人に、後継者が決まっていない理由を尋ねたところ、最も多かったのは「自ら事業を継続するつもりだから」で、次いで「適当な人物が見当たらないから」、「後継者の育成ができていないから」が多かった。

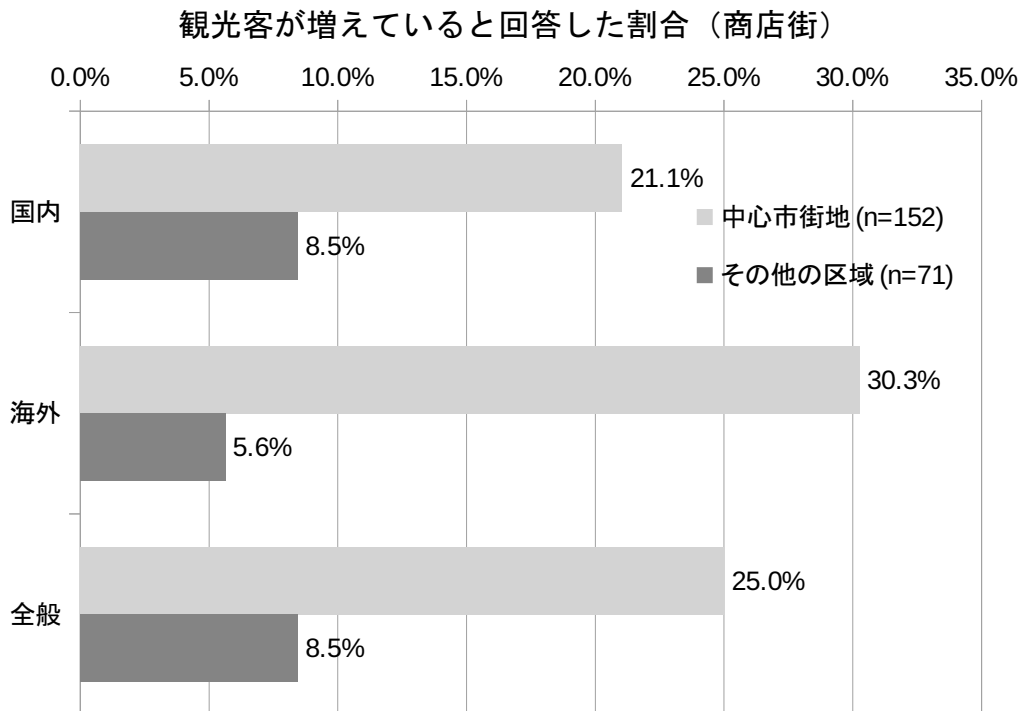
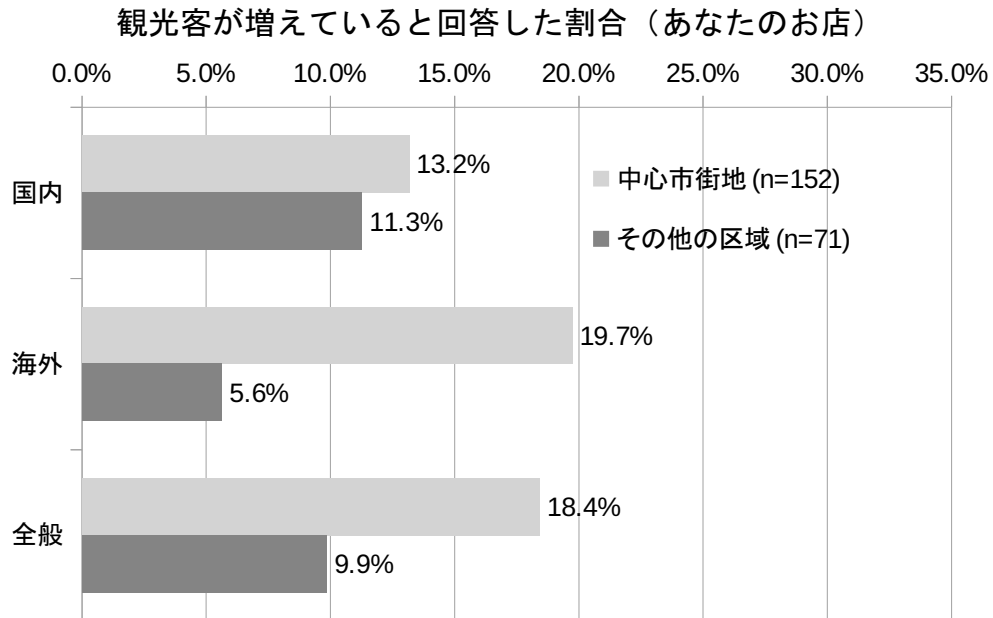


問7 本市では、観光客誘致の取組を推進していますが、以前（概ね2～3年前）と比べて、あなたのお店や商店街を訪れる観光客数は増えていますか。国内の観光客、海外の観光客、観光客全般、それぞれについてお答えください。（項目別に1つに○）

観光客数について、各々の店舗においては、国内、海外、全般、いずれも「変化なし」が最も多かった。また、商店街においても、国内、海外、全般、いずれも「変化なし」が最も多かった。



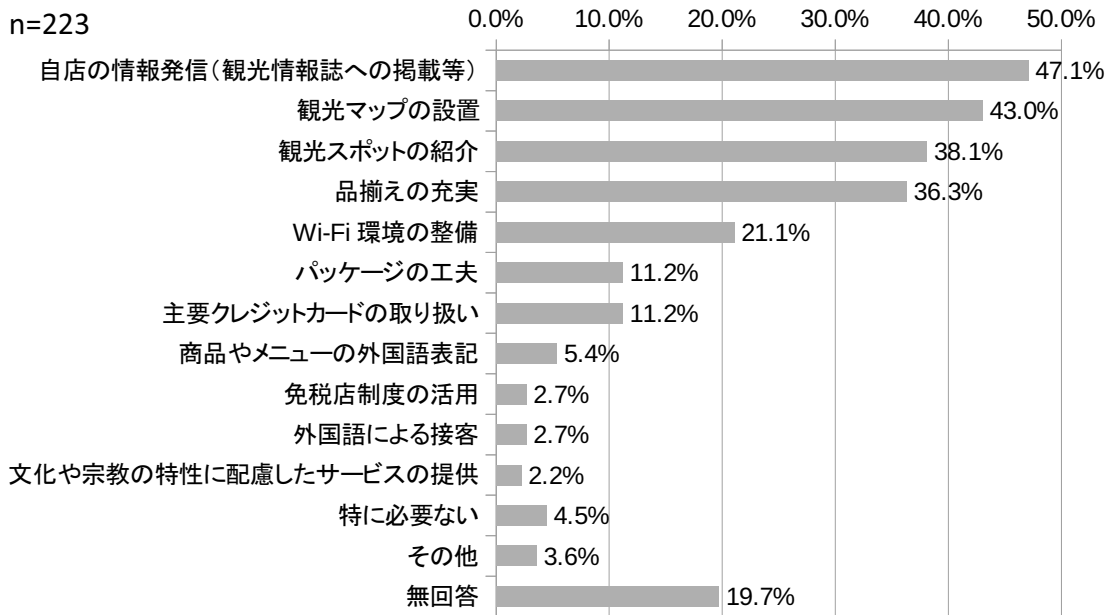
問7で観光客が「増えている」と回答した割合を所在地別にみると、国内、海外、全般、いずれも「中心市街地」が「その他の区域」を上回っており、特に商店街においてはその差が顕著となっている。また、国内と海外を比較すると、海外からの観光客が増えていると感じている割合が多いことが分かる。



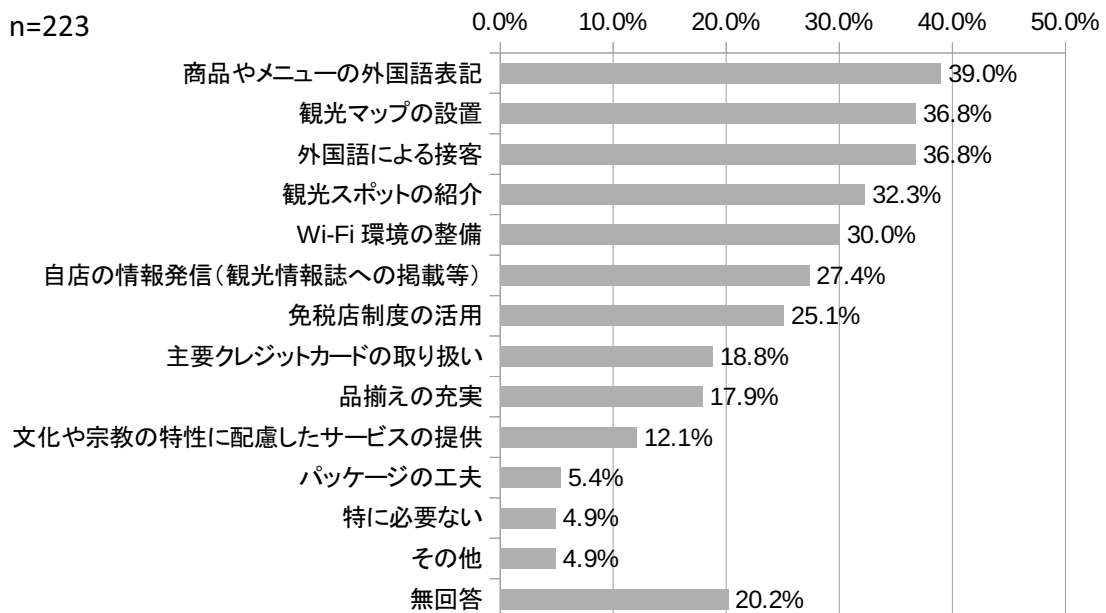
問8 観光客を増加させるために、どのような個店サービスに取り組むことが必要だと思いますか。国内の観光客向け、海外の観光客向け、それぞれについて、あてはまる番号を全て（ ）に記入してください。

観光客を増加させるために、どのような個店サービスに取り組むことが必要か尋ねたところ、国内では「自店の情報発信（観光情報誌への掲載等）」、「観光マップの設置」、「観光スポットの紹介」が、国外では「商品やメニューの外国語表記」、「観光マップの設置」、「外国語による接客」が多かった。

国内



海外



第2次大分市商工業振興計画 商店街アンケート調査

この調査は、第2次大分市商工業振興計画を策定するための基礎資料とさせていただくことを目的としています。お忙しい中、恐れ入りますが、大分市の商工業振興を図るため、できるだけ全ての設問について、皆さまの率直なご意見をお聴かせ頂きますようお願いいたします。

なお、お答えいただきました内容につきましては統計的に処理し、本調査の目的にのみ使用いたしますので、個人や事業所が特定される情報を公表することはありません。

問1 あなたのお店の業種についてお聞きします。(1つに○)

1. 製造業	2. 建設業	3. 電気・ガス・熱供給・水道業
4. 情報通信業	5. 運輸業・郵便業	6. 鉱業・採石業・砂利採取業
7. 小売業	8. 卸売業	9. 宿泊業・飲食サービス業
10. 金融業・保険業	11. 不動産業・物品賃貸業	12. 医療・福祉
13. 教育・学習支援業	14. サービス業 (他に分類されないもの)	15. その他 ()

問2 あなたのお店の概要についてお聞きします。(各項目別に1つに○)

事業継続期間 (現在地で開業してからの期間)	1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
	4. 5年～10年未満	5. 10年～20年未満	6. 20年以上
経営者の年齢	1. 30歳未満	2. 30歳代	3. 40歳代
	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上
就業者数 () 人 ※経営者自身、家族、パート等、貴店舗で働く全ての人の数をご記入ください。			

問3 あなたのお店が商店街に加入するメリットをお答え下さい。(あてはまる番号全てに○)

1. 販売促進につながる	2. 地域貢献につながる
3. 情報交換が盛んになる	4. 近隣店舗との人間関係が構築できる
5. 個店ではできない大規模なイベント等が実施できる	6. 商店街活性化補助金など充実した行政支援が受けられる
7. わからない	8. その他 ()

問4 商店街未加入者の加入を促進するために、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまる番号全てに○)

1. バーゲンの実施等、販売促進に直接つながる商店街活動の実施	2. 地域の子供見守りなど社会貢献を目的とした商店街活動の実施
3. 商店街活動へ参加する人的負担の軽減	4. 商店街の会費等の費用負担の軽減
5. 商店街活動のPRの充実	6. 商店街への加入促進に対する行政支援の充実 ※具体的に ()
7. 研修会を開催するなど、個店の魅力向上につながる活動の実施	8. 懇親会を開催するなど、商店主間での親睦を深める活動の実施
9. わからない	10. その他 ()

裏面の質問にもお答えください →

問5 近い将来、あなたのお店の具体的な後継者は決まっていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 決まっている ⇒ 問7へ	2. 決まっていない ⇒ 問6へ
-----------------	------------------

問6 後継者が決まっていない理由はなんですか。（あてはまる全てに○）

1. 適当な人物が見当たらないから	2. 後継者の育成ができていないから
3. 期待する人に後継者となる意思がないから	4. 自ら事業を継続するつもりだから
5. 廃業を考えているから	6. その他（ ）

問7 本市では、観光客誘致の取組を推進していますが、以前（概ね2～3年前）と比べて、あなたのお店や商店街を訪れる観光客数は増えていますか。国内の観光客、海外の観光客、観光客全般、それぞれについてお答えください。（項目別に1つに○）

あなたのお店	国内の観光客	1. 増えている	2. 変化なし	3. 減っている
	海外の観光客	1. 増えている	2. 変化なし	3. 減っている
	観光客全般	1. 増えている	2. 変化なし	3. 減っている
商店街	国内の観光客	1. 増えている	2. 変化なし	3. 減っている
	海外の観光客	1. 増えている	2. 変化なし	3. 減っている
	観光客全般	1. 増えている	2. 変化なし	3. 減っている

※お店で接客する中での主観で構いません。

問8 観光客を増加させるために、どのような個店サービスに取り組むことが必要だと思いますか。国内の観光客向け、海外の観光客向け、それぞれについて、あてはまる番号を全て（ ）に記入してください。

1. 自店の情報発信（観光情報誌への掲載等）	2. 品揃えの充実
3. パッケージの工夫	4. 主要クレジットカードの取り扱い
5. 観光スポットの紹介	6. 観光マップの設置
7. Wi-Fi環境の整備	8. 免税店制度の活用
9. 外国語による接客	10. 商品やメニューの外国語表記
11. 文化や宗教の特性に配慮したサービスの提供	12. 特に必要ない
13. その他（ ）	

【国内の観光客向け】（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

【海外の観光客向け】（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

※回答欄（ ）が足りない場合は、お手数ですが、追加してご記入ください。

お手数ですが、4月30日（土）までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご返送下さい。【お問合せ先】大分市商工労政課 商業にぎわい担当班（TEL：537-5959）

以上

お忙しいなか、ご協力いただきありがとうございました。